

巻頭言

日本 ALS 協会北海道支部長
深瀬 和文

春も本番の季節がやって来ました。我が ALS 北海道支部も新役員を迎えて新しく出発したいと思っています。どうかこの一年宜しく願います。

今年はまず 5 月から第 2 木曜日に活動として絆サロンが始まりました。絆サロンは 5 月から 11 月の第 2 木曜日に行く予定です。会員でも悩み事や相談事があればぜひ来て下さい。場所はかでの 2・7 の 2 階ボランティアルームです。

それと北海道支部で喀痰吸引 3 号研修を釧路、旭川で行う予定です。日にちが分かり次第お伝えしますのでぜひ痰吸引を受けたいと思っている人がいましたらお伝えください。

6 月には北海道支部の総会がありますのでぜひ皆さんに参加して欲しいと思っています。

それから私事ですが家に違う事業所のヘルパーが重なって入っております。それというのは孫がいま病気で免疫力がおちる薬を飲んでおり保育園に通えない状態なので日中家にいなければいけない状態です。日中は嫁が仕事に出ており自分のヘルパーと孫のヘルパーと一緒に介護をしています。ただ孫のヘルパーが入る時間数が足りないので時間交渉をしました。ふつう成人と比べて時間数が少ないのが実状です。うちの場合居宅介護で 30 時間、家事援助で 30 時間、移動支援で 30 時間、これでは全然足りません。そこで担当の保健師に相談したところ区役所に掛け合ってもらい時間数が増えるかもしれないという連絡をもらいました。数日たってから区役所の障害福祉課から電話が来て時間数が増やせるという電話でした。その電話で聞き取り調査をして申請書を出して、いま時間数がどれだけ増えているか待ちです。

何が言いたいかというと自分がこれだけ困っていることを行政に相談することが大事だと思います。それによって小さくても結果が出てくると思います。まずどんな小さなことでも行政に相談したほうがいいと思います。